



捨てるべき人間はいない—



助演 工藤夕貴 とめおかなつこ 留岡夏子

主演 村上 弘明 とめおかこうすけ 留岡幸助

制作：現代プロダクション

＝映画「大地の詩」推薦文＝

今、豊かさいっぱいの中、何不自由が無い筈なのに、親が子の、子が親の命を奪うという悲惨な事件が伝わってきます。豊かな生活を求めるために、高い学歴が求められているのですが、豊かさを手に入れることには熱心でも。何か大切な忘れものに気付いて欲しいと思うのです。

それは、折角この世に生を受けた子を、天からの授かりものとして無条件で受容し、かけがえのない人として思いやりや優しさなど「情」が満ちあふれる環境の中で育みたいと思うのです。

明治の中頃、孤児救済のために命をかけた「石井十次」と同時代に、少年教護の父として活躍をされた「留岡幸助」は岡山県・高梁出身です。彼は非行少年に罪を償うために罰を与えても効果がない。彼らの養育環境に非行をせざるを得ない原因があるとし、親の愛に満ちた環境の中で養育をして、生きていく知恵を身につけさせるという意味から「家庭学校」という感化院を創設しております。

このたび、「留岡幸助の生涯」を描いた映画が「石井十次」の映画の製作者「山田火砂子」監督によって製作されることになりました。

この映画は、家庭や子育てのあり方、児童の健全育成にかかわる上にも、大きな示唆が得られるものと大きな期待を寄せる者です。

元岡山県立成徳学校長 元全国教護院協議会長 叶原 士筆